

WALL PANEL FOR BATHROOM

Publication number: JP2001227100

Publication date: 2001-08-24

Inventor: FUKUMOTO HACHIRO

Applicant: SEKISUI CHEMICAL CO LTD

Classification:

- International: E04F13/08; E04C2/28; E04C2/30; E04F13/08;
E04C2/26; E04C2/30; (IPC1-7): E04C2/28; E04C2/30;
E04F13/08

- European:

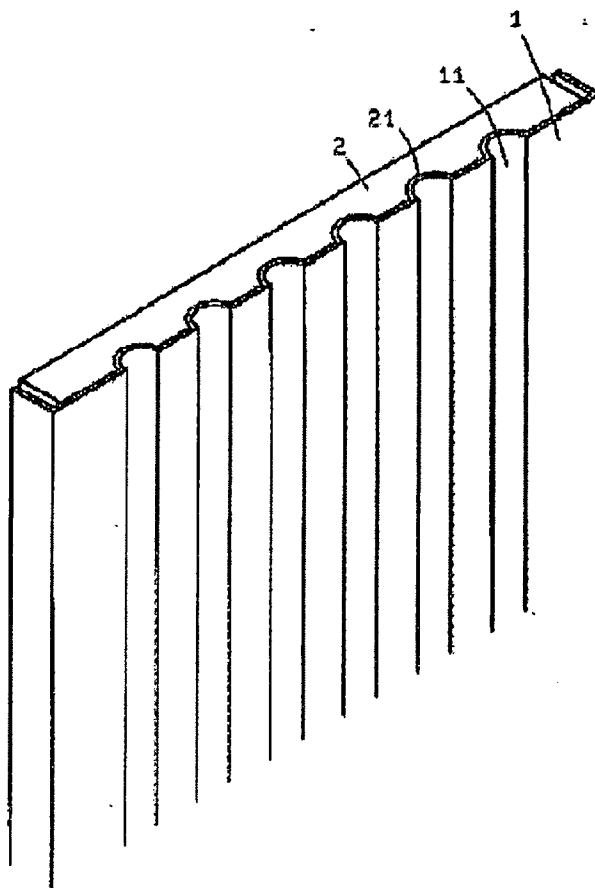
Application number: JP20000039823 20000217

Priority number(s): JP20000039823 20000217

Report a data error here

Abstract of JP2001227100

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a wall panel for a bathroom in which a gypsum board is firmly adhered to a back side of a synthetic resin covered steel sheet with decorative recessed grooves formed in a face side thereof, and condensation on the back side of the steel sheet can be prevented. **SOLUTION:** The recessed grooves drawn in the surface of the gypsum board 2 are fitted on the back side of the decorative recessed grooves 11 curvedly formed in the surface of the synthetic resin covered steel sheet 1, and the steel sheet 1 is adhered to the gypsum board 2.



Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-227100

(P2001-227100A)

(43) 公開日 平成13年8月24日 (2001.8.24)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	データベース* (参考)
E 0 4 C	2/28	E 0 4 C	2 E 1 1 0
	2/30		C 2 E 1 6 2
E 0 4 F	13/08	E 0 4 F	E

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願2000-39823(P2000-39823)

(22) 出願日 平成12年2月17日 (2000.2.17)

(71) 出願人 000002174

積水化学工業株式会社

大阪府大阪市北区西天満2丁目4番4号

(72) 発明者 福本 八郎

奈良市三条大路4-1-1 積水化学工業株式会社内

Fターム(参考) 2E110 AA14 AB04 AB42 BA02 BB22

GB01W GB16X GB42W

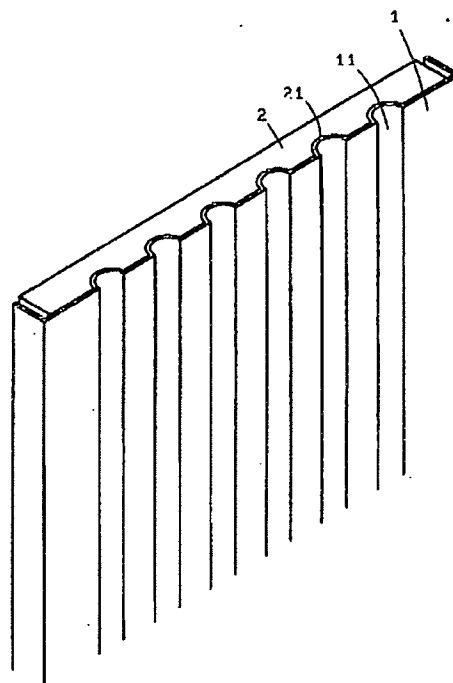
2E162 CA16 CB02 EA18

(54) 【発明の名称】 浴室用壁パネル

(57) 【要約】

【課題】 表面に化粧凹溝を曲成した合成樹脂被覆鋼板の裏面に石膏ボードが強固に接着され、鋼板裏面の結露を防止することが出来る浴室用壁パネルを提供する。

【解決手段】 合成樹脂被覆鋼板1の表面に曲成された化粧凹溝11の裏面に、石膏ボード2の表面に絞り込み成形により刻設された凹溝21が嵌合され、鋼板1と石膏ボード2とが接着されている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 合成樹脂被覆鋼板の表面に曲成された化粧凹溝の裏面に、石膏ボードの表面に絞り込み成形により刻設された凹溝が嵌合され、鋼板と石膏ボードとが接着されていることを特徴とする浴室用壁パネル。

【請求項2】 合成樹脂被覆鋼板の表面に曲成された化粧凹溝の裏面に、石膏ボードの表面に切削により刻設された凹溝が嵌合され、鋼板と石膏ボードとが接着され、石膏ボードの裏面に別の一枚板状の石膏ボードが接着されていることを特徴とする浴室用壁パネル。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、浴室用壁パネルに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、合成樹脂被覆鋼板の裏面に一枚板状の石膏ボードを接着して補強した浴室用壁パネルは公知である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、装飾性を高める為に、板羽目の目地を模して化粧凹溝を表面に曲成した合成樹脂被覆鋼板に、一枚板状の石膏ボードを接着した場合には、両者の接触面積が小さくなる為に剥離し易く、又、鋼板の石膏ボードとの離隔部の裏面に結露を生じるおそれがある。

【0004】本発明は、上記従来の問題点を解消し、表面に化粧凹溝を曲成した合成樹脂被覆鋼板の裏面に石膏ボードが強固に接着され、鋼板裏面の結露を防止することが出来る浴室用壁パネルを提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】請求項1の発明の浴室用壁パネルは、合成樹脂被覆鋼板の表面に曲成された化粧凹溝の裏面に、石膏ボードの表面に絞り込み成形により刻設された凹溝が嵌合され、鋼板と石膏ボードとが接着されていることを特徴とする。

【0006】請求項2の発明の浴室用壁パネルは、合成樹脂被覆鋼板の表面に曲成された化粧凹溝の裏面に、石膏ボードの表面に切削により刻設された凹溝が嵌合され、鋼板と石膏ボードとが接着され、石膏ボードの裏面に別の一枚板状の石膏ボードが接着されていることを特徴とする。

【0007】請求項1及び2の発明の浴室用壁パネルに於いて、合成樹脂被覆鋼板の表面に曲成された化粧凹溝の形状及び深さは、特に限定されないが、加工性の面から断面略半円形状で深さ3～5mmとなされるのが一般的である。

【0008】請求項1及び2の発明の浴室用壁パネルに於いて、石膏ボードは、焼石膏に木粉、パーライト等の軽量材を約10%混入し、両面に厚紙を貼付して焼石膏の

吸水硬化作用を利用して成板したものを意味する。焼石膏にシリカ、アルミナを主成分とする粘土を配合し、微細孔を形成させてたものは、吸湿性を有するのでより好ましい。

【0009】石膏ボードの表面に絞り込み成形により化粧凹溝を刻設する場合には、凹溝部分が圧縮されて補強効果を奏することになるが、切削による場合には、石膏ボードの両面に貼付されて強度を主として受持している厚紙の一方が部分的に除去されて強度が低下するので、強度の低下を補う為に、切削により化粧凹溝が刻設された石膏ボードの裏面に更に別の一枚板状の石膏ボードが接着される。

【0010】

【発明の実施の形態】以下本発明の浴室用壁パネルの実施例を図面に基いて説明する。図1は請求項1の発明の浴室用壁パネルの1例を示す斜視図、図2は請求項2の発明の浴室用壁パネルの1例を示す斜視図である。

【0011】図1に示されている請求項1の発明の浴室用壁パネルに於いて、1は合成樹脂被覆鋼板であって、合成樹脂被覆鋼板1の両端は裏面側に直角に折曲されており、表面には断面略半円形状の化粧凹溝11が等間隔に曲成されている。

【0012】合成樹脂被覆鋼板1の化粧凹溝11の裏面には、石膏ボード2の表面に絞り込み成形により等間隔に刻設された断面略半円形状の凹溝21が嵌合されており、石膏ボード2の表面に塗布された接着剤により、鋼板1と石膏ボード2とが接着されている。

【0013】図2に示されている請求項2の発明の浴室用壁パネルに於いては、合成樹脂被覆鋼板1の断面略半円形状の化粧凹溝11の裏面に、石膏ボード2の表面に切削により刻設された断面略矩形形状の凹溝21が嵌合されており、石膏ボード2の表面に塗布された接着剤により、鋼板1と石膏ボード2とが接着されている。鋼板1の裏面に接着された石膏ボード2の裏面には、更に別の一枚板状の石膏ボード3が接着されている。

【0014】

【発明の効果】請求項1の発明の浴室用壁パネルは、叙上の通り構成されているので、表面に化粧凹溝を曲成した合成樹脂被覆鋼板の裏面に石膏ボードが強固に接着され、鋼板裏面の結露を防止することが出来る。

【0015】請求項2の発明の浴室用壁パネルは、叙上の通り構成されているので、表面に化粧凹溝を曲成した合成樹脂被覆鋼板の裏面に石膏ボードが強固に接着され、鋼板裏面の結露を防止することが出来る。

【図面の簡単な説明】

【図1】請求項1の発明の浴室用壁パネルの1例を示す斜視図。

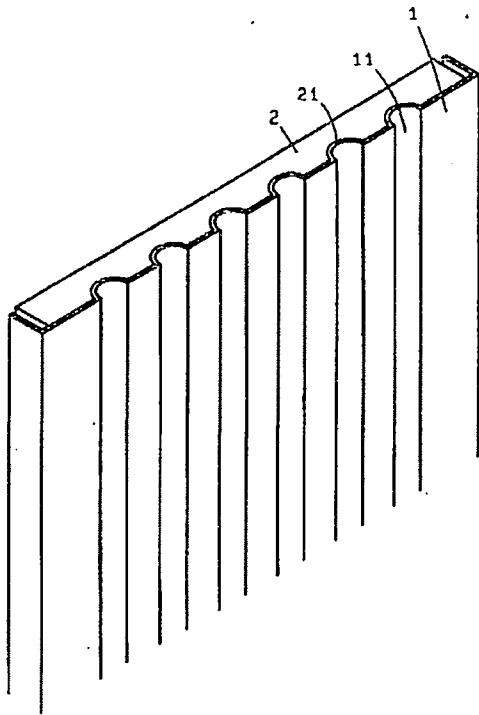
【図2】請求項2の発明の浴室用壁パネルの1例を示す斜視図。

【符号の説明】

- 1 合成樹脂被覆銅板
- 2 石膏ボード
- 3 (一枚板状の) 石膏ボード

- 11 化粧凹溝
- 21 凹溝

【図1】



【図2】

